

アメリカ教育学会 第 34 回大会プログラム

開催期日：10月29日（土曜日）

開催形式：Zoom オンライン

開催校：

名古屋大学大学院

教育発達科学研究科

The 34th Annual Conference of
Japan Association of American Educational Studies

アメリカ教育学会 第 34 回大会準備委員会

Phone:052-789-2616(直通)

Email: jaaes2022@gmail.com

◇ 大会日程 ◇

1. 会期：2022年10月29日（土）（理事会：10月28日（金）16：00－18：00）

時間	開催内容
10：00～12：10	自由研究発表1
10：00～12：30	自由研究発表2
12：30～13：15	昼食休憩
13：15～14：15	総会
14：30～16：30	公開シンポジウム
16：45～17：45	情報交換会

2. 学会費：

会費未納の方は、必ず事前に年会費（正会員 6,000 円、学生会員 5,000 円）を納めてください。

3. 大会参加費：無料

4. 事前申込のお願い：

すでに学会事務局からメールにてお知らせしておりますように、「大会参加事前申込フォーム」（下記 URL）から事前にお申し込みをお願いいたします。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSctTH0ZPhdNutyp175wVrjtICszKk0iQLJnAhCwu>

[mzn0XYqQw/viewform?usp=sf_link](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSctTH0ZPhdNutyp175wVrjtICszKk0iQLJnAhCwu/mzn0XYqQw/viewform?usp=sf_link)

5. その他



『発表要旨集録』は大会前日までに、事前申し込みをされた参加者宛にのみメール添付 PDF ファイルで送付します。紙媒体での印刷配布はございません。



昨年と同様に、情報交換会も、Zoom オンラインにて実施します。気軽な交流の機会としてご利用いただき、会員相互の親睦や学術活動のための研究課題の共有や発展のためにご活用いただければ幸いです。



参加に際してのお願い

- ・ できる限り静かでネットワークが安定している環境でご参加ください。
- ・ Zoom のアップデートをご確認の上、最新版にてご参加ください。
- ・ 入室に際し、Zoom の名前表示を必ず「氏名（ご所属）」としてください。
（例）名古屋禄兵衛（名古屋大学）
- ・ 原則として、Zoom の操作等に関しては、司会や大会校・学会事務局ではサポートできませんので、事前に各自で十分ご確認ください。
- ・ 登壇者以外の参加者は、入室されましたら、カメラは「ビデオ停止」、マイクは「ミュート」にしてください。
- ・ 進行に支障があると判断される場合は、ホストがマイクのミュート、ミーティングの終了等の操作を行う場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ・ スクリーンショットを含め、録音・録画は一切ご遠慮ください。なお、大会記録の作成のため、学会事務局において、Zoom のレコーディング機能を用いた録音・録画を行います。あらかじめご了承ください。

◇ 自由研究発表 ◇

- 🕒 発表時間 個人研究発表 発表 20 分・質疑 5 分 (計 25 分)
- 🕒 各分科会とも、10 分前 (9:50) よりご入室いただけます。
- 🕒 各分科会の司会者・発表者(報告者)は、20 分前まで (9:40) にご入室して、簡単な打ち合わせをお願いいたします。
- 🕒 個別の発表・質疑の終了後に、全体討議の時間を設けます。
- 🕒 各発表者(報告者)は、資料がある場合は、大会準備委員会 jaaes2022@gmail.com宛にメール添付で当日朝 9:30 までにご送付ください。
- 🕒 発表資料の配布は、各発表者、また大会事務局より当日 Zoom チャット、クラウドリックの共有等を通じて行う予定です。

◇ 自由研究発表 1 10 月 29 日 (土) 10:00~12:10

<https://us02web.zoom.us/j/88556137388?pwd=TTB3RjZkY1E0elc2WDhUbm0vNVE1Zz09>
ミーティング ID: 885 5613 7388
パスコード: 0KPw3K

【司会】赤星晋作(広島市立大学)・佐藤隆之(早稲田大学)

- 10:00-10:25
米国オハイオ州の学校から社会への移行支援におけるポートフォリオの活用方策
—教材の電子化による支援実践の変容に焦点を当てて—
芦沢柚香(筑波大学大学院)
- 10:25-10:50
多様性に配慮するシアトル市の教育改革
市川真希(Seattle Public Schools)
- 10:50-11:15
ミズーリ州の学習スタンダードをめぐる教育政治
木場裕紀(東京電機大学)
- 11:15-11:40
米国の貧困地域における学校と家庭の連携体制
西徳宏(大阪大学)
- 11:40-12:10
全体討議

◇ 自由研究発表2 10月29日(土) 10:00~12:30

<https://us02web.zoom.us/j/89363296141?pwd=bmJwN0ExR0ozYVcveUd2dG1rNGtTdz09>

ミーティングID: 893 6329 6141

パスコード: 265924

【司会】末藤美津子(名古屋経営短期大学)・澤田稔(上智大学)

・10:00-10:25

J.L.メリアムによるミズーリ大学附属初等学校における実験領域「遊び」についての研究

西野雄一郎(愛知教育大学)

・10:25-10:50

クリーバードのカリキュラム史観からみるラヴィッチのカリキュラム概念

浅沼茂(東京福祉大学)

・10:50-11:15

米国修士大学における留学生受け入れに対する大学教職員の認識

—受け入れ留学生の多寡と Knight の論理的根拠に着目して—

陣田内美(名古屋大学大学院)

・11:15-11:40

米国高等教育機関における教育研究の変遷

—1800年代後半から今日まで—

宮澤かおる(レスリー大学 Lesley University)

・11:40-12:05

米国大学におけるライティングセンターの成立と展開

西口啓太(関西学院大学)

・12:05-12:30

全体討議

◇ 総 会 ◇

2022年10月29日(土) 13:15-14:15

<https://us02web.zoom.us/j/89553817298?pwd=UjVhZ0ZTc3JuaDBKUnhxMGc5RUUpndz09>

ミーティングID: 895 5381 7298

パスコード: 906493

◇ 公開シンポジウム ◇

2022年10月29日(土) 14:30-16:30

アメリカの大学が抱える諸問題：大学の財政基盤と市場からの影響

<https://us02web.zoom.us/j/81332125674?pwd=a0xBRm5nWTJXL1NieDBQRnZFNmNLUT09>

ミーティングID: 813 3212 5674

パスコード: MSiX4p

21世紀の高等教育機関は、その教育の質保証、学術研究のための外部資金、研究者や教職員の人材育成、科学技術開発などさまざまな点において、国家や社会一般、特に国際的な政治経済の動向からの強い影響下に置かれるようになった。

日本の高等教育の場合、その就学率は2010年代にユニバーサル段階に入ったものの、その大きな外部環境である日本経済は前世紀末より低成長の最中にあり、このことが高等教育財政にネガティブな影響を及ぼし続けている。これまで人口動態(少子化)による影響については強い関心が寄せられてきたが、高等教育(市場)を、資本主義経済、金融市場、(大卒・院卒の)労働市場において、位置づけ直し、それらの相関について注視していく必要が高まっている。

なかでも先頃、10兆円の大学ファンドが法制化されたが、これは、高等教育財政の歴史では大きな転換を意味する可能性がある。つまり、それは、科学技術が経済的価値や社会的価値を生み出すことを期待した、政府による大学への投資であるとともに、その財政基盤については、大学の経営がますます外部環境の一つである金融市場に大きく依存するようになることを意味する。言うまでもなく、大学の財政基盤強化のために金融市場からの資金調達や投資戦略を組み込むことは、近年のアメリカの有力な私立大学の経営をモデル(基本財産 endowment fund の強化とその活用による教育研究活動の健全化)としたものである。

さらに今般のCOVID-19の影響は、各国の大学に大きな影響と転換をもたらしたと考えられる。強い財政基盤をもつ大学と基本財産の規模が小さく学生からの授業料収入に大きく依存せざるを得ない大学では、当然、リスクに対する脆弱性とレジリエンスにおいて大きな格差となったと想像される。

本シンポジウムでは、金融市場危機をはじめとする経済状況のなかで、またコロナ禍がもたらした数々の危機のなかで、アメリカ型の大学モデルがどのようにふるまい、質の転換を図ってきたのか、近未来の大学像を展望する考察の機会としたいと考える。

- 1 アメリカの大学の経済的基盤とその多様性
提案者：阿曾沼明裕(東京大学)
- 2 コロナ禍にある「アメリカモデル」の構造的問題
提案者：長沢 誠(埼玉大学)
- 3 パンデミックがもたらしたアメリカ高等教育のトレンド変化
提案者：川村真理(文科省科学技術・学術政策研究所)
- 4 アメリカ高等教育とCOVID-19のケーススタディ：パーデュー大学ウェスト・ラファイエット校とイリノイ大学アーバナ・シャンペーン校
提案者：野崎与志子(学習院大学・ニューヨーク州立大学バッファロー校名誉准教授)
企画・コーディネーター・進行：松下晴彦(名古屋大学)

◇ 情報交換会 ◇

2022年10月29日(土)16:45-17:45

<https://us02web.zoom.us/j/83544410490?pwd=dkZlTzlabTlFejYvUk1MMjl6czRtUT09>
ミーティング ID: 835 4441 0490
パスコード: aCPa3k

- ◆ オンラインでの開催となります。
- ◆ 入退室自由です。お気軽にご参加ください。
- ◆ 本大会全般に関する感想の交換、その他、研究課題の共有や研究打ち合わせ、
会員相互の親睦のためにご利用いただければ幸いです。

アメリカ教育学会第34回大会プログラム

2022年9月30日発行

発行者 アメリカ教育学会第34回大会準備委員会

委員長 松下 晴彦 (名古屋大学)

〒464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院 教育発達科学研究科

e-mail: jaaes2022@gmail.com n47132a@cc.nagoya-u.ac.jp

phone: 052-789-2616